

臨床研究「喉頭癌の診断・予後に関する臨床的検討(多施設共同研究も含む)」について

喉頭癌は頭頸部癌の中で比較的予後良好とされていますが、進行癌においては、喉頭全摘を必要とする場合があります。喉頭全摘を行うと永久失声となるため、生活の質は著しく低下します。このため喉頭癌においては早期診断かつ機能温存を目指した治療が必要とされます。喉頭癌の早期診断及び予後の改善を目的として、これまでの当院における喉頭癌の診断・治療について解析を行っています。しかしながらひとつの施設での検討では、十分な症例数を集めるのに長時間かかることもあり、新しいエビデンスを確立するのが困難な事も多く認められます。そのため多くの施設と協力して症例を検討することが、医学の進歩に有用であると考えられます。

そのため、1993年から2013年まで当院で喉頭癌にて治療を受けられて頂いた患者様を対象に、診療情報を診療録(カルテ)に基づき調査させていただきます。

この調査では、診療情報を個人が特定できないように、匿名化して、集計・解析することとし、患者様の個人情報には現住に保護するとともに、取り扱いには十分留意しています。またこの調査にて得られた情報は研究目的以外には使用いたしません。

対象に該当される患者様でこの調査にご自身の診療情報の使用を希望されない方や疑問のある方は耳鼻咽喉科 橘 智靖(タチバナ トモヤス)までご連絡ください。ご連絡が無い場合には、貴重な診療情報を本研究に活用させていただきます。

治療・経験した症例を解析する事によって得られた知識が医学・医療の進歩に役立つよう、ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

《研究対象》

喉頭癌にて姫路赤十字病院および関連病院にて、

外来・入院治療を受けられた患者様

《研究期間》

臨床研究審査会承認後から2015年10月末まで

《研究代表者・連絡先》

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 橘 智靖

〒670-8540 兵庫県姫路市下手野1-12-1

電話 079-294-2251